

「新たな基幹産業の育成」に資するベンチャー企業の創出・育成に向けて(概要)

～日本型「ベンチャー・エコシステム」の構築を目指して～

2015年12月15日 一般社団法人 日本経済団体連合会

基本認識

- 大企業・大学・ベンチャーキャピタル※1・ベンチャー企業が連携して新興企業を育成する「ベンチャー・エコシステム※2」の構築が日本再興の鍵
- 政府は、日本再興戦略に記された「ベンチャー・チャレンジ2020(仮称)」を省庁一体的な基本戦略として確立することが急務
- 産業界は、本格的なオープンイノベーションの中でベンチャー企業との連携を抜本的に強化。経団連も、大学・地方との具体的な連携を通じ、共同でベンチャー企業の創出・育成および連携に取り組む

ベンチャー・エコシステム構築への基本戦略確立・政府体制強化

- 米国「スタートアップ・アメリカ」プログラム等に比肩するベンチャー企業創出・育成に向けたマスタープランの確立
- イノベーション・産業育成の視点に基づく、科学技術・中小企業関係省庁等による政府内体制強化の推進

政府等への提言

大企業・大学・VC※3・ベンチャー企業の連携促進

- ベンチャー企業と連携する幅広い関係者が集う「場」の確立
- ベンチャー企業に一体的な経営支援等を行う主体への支援
- 投資環境の改善
- 起業家人材の育成

科学技術イノベーション政策との連動

- 研究と事業化のギャップである「死の谷」を越える支援
- 科学技術重点分野における、早期支援の充実化
- 産・学・官での人材の壁突破
- ベンチャー企業を意識した「規制緩和」方策

大学をハブとしたベンチャー創出・育成

- 国立大学改革と連動した大学発ベンチャー企業の創出・育成策の導入加速
- 「卓越大学院※4」などのイノベーション拠点におけるベンチャー企業の創出・育成加速

地方における「起業」拠点の確立

- 福岡市等が指定されている「グローバル創業・雇用創出特区」の継続的な機能強化
- スタートアップ法人減税・人材流動化・大学活用等の推進

産業界の取組み

ベンチャー企業との新たなシナジーの確立

- ベンチャー企業との連携における経営層の関与増、および、失敗を許容する環境作り、新事業戦略との連動等に向けた体制の構築
- 起業前・起業後すぐの段階から、大企業がベンチャー企業と経営・調達・技術交流等の多様な形で連携(ハンズオン型)
- 関係する企業が連携し、ベンチャー企業との具体的な活動を推進

大学と「共同」でのベンチャー企業の創出・育成

- 「東大・経団連ベンチャー育成会議」を設立予定
- 企業・大学の共同研究成果を活かしたベンチャー企業の創出に向けたスキームの構築

大企業と地方ベンチャー企業の連携構築

- 「スタートアップ都市推進協議会」の連携
- 大企業と地方のベンチャー企業が連携する場を提供
- 共同での政策提言実施

※1:主に高い成長率を有する未上場企業に対して投資および経営支援を行う投資会社

※2:大企業・大学・起業家等の様々な構成要素間で資金・技術・人材が好循環し、ベンチャー企業が創出・育成される仕組み

※3:ベンチャー・キャピタル

※4:複数の大学、研究機関、企業等で形成される、世界トップレベルの研究・ベンチャー創出拠点構築事業